



# 平和・暮らし いまこそ憲法を 守り生かす市政を



ウクライナ市民への支援  
募金に取り組む党市議員団

## 大津から平和の発信を

### 市長の姿勢問う

### 代表質問

長引くコロナ感染に、値上げラッシュ、そしてロシアのウクライナ侵略。市内では市民病院の医師の大量退職が起こるなど、市民の困難・不安は尽きません。日本共産党市議団は、市民の命・暮らし最優先の市政を求め、2月通常会議に臨みました。

## ロシアの 侵略攻撃 NO!

2月24日、ロシアがウクライナに軍事侵攻を開始し、多くの市民が犠牲になっています。日本共産党市議団は、ただちに侵略をやめよと行

動に取り組み、大津市議会でも侵略を非難する決議が全会一致で採択されました。

ロシアによるウクライナ侵略は、日を経るごとに残酷さを極め、犠牲が増え続けています。一方で、日本政府や維新の会などは敵基地攻撃能力の保有を主張し、ロシアの侵略に絡めて核兵器の「共有」など軍事力強化まで言い出しています。国会答弁で、自衛隊戦闘機が相手国の領域に侵入し軍事拠点を爆撃する選択肢を排除しないと、戦争放棄を掲げる憲法にも反するもので許せません。また、ロシアに対する経済制裁が行われている下で、物価の高騰など大津市民にとっても具体的な影響が生じています。他国に攻撃を仕掛けることがどのような結果を生み出すのか、今まさに示されており、動員されるのは自衛隊の青年です。大津市には自衛隊の駐屯地や宿舎もあります。質問に立った杉浦市

## 市民の命・健康を守る市民病院へ

### 医師の大量退職問題 杉浦市議が追及

地方独立行政法人 市立大津市民病院は、市民の医療の保障、地域医療の重要な拠点であり、新型コロナ対応では最新治療の先導的役割を果たしてきました。ところが、今年2月に外科・脳神経外科の医師が退職の意向を示し、その後も多数の医師が退職を表明しています。市民病院では、2年前にも産科やERの医師が一斉退職しています。

赤字の病院を切り捨てた独立法人化の問題点が噴出しているのではないかと、杉浦市議は、治療の継続性をはじめ、市民や職員を不安に陥れた根本原因を追及。質問からは、地域医療を守るための情報収集など市の対応の不十分さも見えてきました。



質問に立つ杉浦市議



※杉浦市議は他に、児童クラブのコロナ対策について質問しました。

今回の問題の背景には、コロナ禍で医療ひっ迫がくり返されても病床を削減し続ける、政府の「地域医療構想」があります。医療崩壊の大きな要因ともなりました。

市は市民病院の設置者であり、市民の命と健康に責任を負う立場です。病院が信頼を回復し役割を發揮できるよう運営の改善、医療体制の強化を求めています。

議は、平和宣言のまち大津の市長として、市民の生活・平和が脅かされる危険な流れと、それを追認する憲法改正に断固として反対するよう求めました。

しかし市長は、国防に関するものは国で議論されるもの、憲法改正についても国会で議論した上で国民投票に委ねられるものと、自らの姿勢を示すことを避けました。平和を求める言葉すらなく、自治体の首長としての認識が問われます。

#### 代表質問 その他の項目

- コロナ対策の検証
- ジェンダー平等の市政
- 市民の暮らし、生業を守る取り組み
- CO2削減目標の引き上げ
- まちづくりと庁舎整備

# 新型コロナと悪政から市民を守る予算こそ

2月議会では、新年度予算案とそれを具体化する議案などが審議されました。  
痛みを押しつける国政から、深刻な地域経済・暮らしを支える市政が求められています。

## 今こそコロナ検査の拡充、暮らし支援を

新年度予算案は、子どもの居場所づくりや新生児への特別定額給付金の継続、学校司書の増員など市民の願いに応えた事業が盛り込まれた一方で、新型コロナの検査拡充や、生活保護世帯の増加に対応するケースワーカーの増員などは手付かずです。

また、国が押し進めるマイナンバーカードの普及や外部人材の登用をはじめ、デジ

タル関連事業には多額の予算をつけています。昨年、予算の半分しか使われず効果に問題のあるキャッシュレスポイント還元事業も、使い残した約1億円をあてて計上されました。その他にも、公園を民間企業の儲けに差し出すPark-PFI事業※推進など、命・暮らし最優先とはとても言えない予算です。

※民間企業に公園の使い方、管理などを委ねる

文化・安全は切り捨て  
国いいなり

- 文化財保護や博物館など社会教育施設を教育委員会から市長部に  
効率性や財政面に重きが置かれ、自由で自律的な学芸活動が阻害されかねません。
- 青少年の文芸活動を奨励してきた花登筐文芸奨励賞の廃止  
はなとこぼこ
- 国の改悪どおりに、個人情報保護条例を変更 建築基準の規制緩和

## 市民の切実な願いに応える議会を！

「沖縄戦の遺骨の埋まった土砂を埋め立てに使わないで！市議会からも国に意見を」



討論するたてみち市議

議会への市民の陳情を受け、会派間で協議を重ね、「(遺骨の)収容が完了するまでの間、土壌などが適切に保全されるための措置を講じるよう求める」という文言を盛り込んだ意見書案が、今議会に提出される予定でした。ところが最終的に出された意見書案では、一部の会派の合意でその文言を削除。党市議団は、陳情に込めた市民の願いが反映されていないと反対しました。

内容		日本共産党	新和会 (自民・維新・他)	湖誠会 (自民系)	公明党	市民ネット (民進系)	協生会	清正会	立志会 (自民系)
大津市新年度予算案		×	○	○	○	○	○	○	○
意見書案	年金引き下げの中止を求める	○	×	×	×	×	×	○	×
	政党助成金の廃止を求める	○	×	×	×	×	×	×	×

○=賛成、×=反対 (他に8件の意見書案が提出されました)

## 質問紹介

# 市民に寄りそう施策を求めて論戦

2022年  
2月通常会議

### 高すぎる国保料 せめて子どもは引き下げを

高額な国民健康保険料が払えずに、医療を受けられない市民もいます。特に保険料のうち均等割は赤ちゃんにもかかり、子どもが多いほど金額が増します。少子化対策にも逆行すると批判が強く、国は新年度から、就学前の子どもは従来の半額としました。

県内では米原市が独自に18歳まで均等割をゼロにしています。柏木市議は、せめて就学前の子どもの負担を免除するよう求めました。

#### 柏木 けい子市議

**市は** 本市独自の軽減はしないと、従来どおりの冷たい答弁をくり返しました。

#### その他の質問項目

- コロナ感染対策
- オストメイトトイレについて



無料低額診療に  
取り組む診療所で意見交換する柏木市議

### 生理用品を学校トイレに

コロナ禍で「生理の貧困」に光が当たり、全国で生理用品の学校トイレへの設置が広がっています。それにあわせて困りごとの相談を呼びかける自治体もあるなど、学校を子どもたちが安心して過ごせる場とする取り組みが始まっています。

林市議は、経済的な理由だけでなく、恥ずかしくて言い出せない思春期の子どもたちに寄り添い、大津市でも設置することを求めました。

#### 林 まり市議

**市は** 保健室に準備しておりトイレ設置の考えはないとくり返しましたが、子どもたちの声には耳を傾けていきたいと答えました。

#### その他の質問項目

- 医療・福祉職員紹介料
- 公共交通の充実
- フッ化物洗口について

### 生活・環境守る太陽光発電条例に

太陽光発電は地球温暖化を抑えるために大きな力になるものです。しかし、大規模な開発で住民生活への影響や環境破壊が問題になっています。さらに市北部の計画では、事業者の書類偽造が発覚しました。

小島市議は、乱開発を防ぐために、住宅地周辺など建設抑制地域の拡大や、太陽光パネルの廃棄に至るまで事業者の責任を明確化させるなど、規制条例の見直しを求めました。

#### 小島 よしお市議

**市は** 条例改正は考えていないと、前向きな答弁はありませんでした。

#### その他の質問項目

- 産廃・盛り土問題について

みなさんと  
ともに

日本共産党  
大津市会議員団



杉浦とも子

090-4491-1522



たてみち秀彦

090-7105-3648



林まり

090-5045-2490



柏木けい子

090-1919-5298



小島よしお

090-5058-2832